

特 記 仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 節 概 要

1. 適用

本地区の工事仕様は、広島県の「土木工事共通仕様書」、農林水産省制定「施設機械工事等共通仕様書」「施設機械工事等施工管理基準」に準拠する他、本仕様書により実施するものとする。

工事施工に当たり、設計書・図面および仕様書について疑義が生じたときは監督員に協議し指示を受けることとする。

2. 準拠規定

本工事の設計並びに施工に対し、機器の製作、据付、配管工事は、本仕様書によるほか、下記の諸規定に準拠するものとする。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| (1) 日本工業規格 | (J I S) |
| (2) 日本電気工業会規格 | (J E M) |
| (3) 電気学会電気規格調査会標準規格 | (J E C) |
| (4) 電気設備技術基準 | (通産省令) |
| (5) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) | (国土交通省) |
| (6) 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) | (国土交通省) |
| (7) コンクリート標準示方書 | (土木学会) |
| (8) 労働安全衛生法及び同施行規則 | (厚生労働省) |
| (9) その他関係法令及び基準等 | |

3. 質 疑

本仕様書並びに添付図面は、基本概要を示すものであるから質疑を生じた場合は協議の上、監督員の指示に従うものとし、明記していない部分、数量の増減等及び、運転保守並びに設備工事完成上必要なものについては、一切工事費の枠内で受注者が責任を持って完備すること。

4. 施工範囲

工事設計書に示す機械設備の製作、据付並びに試運転迄の一切の工事を受注者は責任をもって施工するものとする。

5. 工事の実施

受注者は、契約後速やかに監督員と詳細な打ち合わせを行い工事に着手するものとし、打合せ記録は必要部数を提出すること。

6. 保 証

- (1) 設備工事の保証期間は、工事完成日より 1 ケ年とする。

(2) 工事完了後明らかに受注者の設計、製作の不備及び施工に基づくものと判断される故障が生じた時には、協議の上、監督員の指示に従い受注者は速やかに無償にて修理又は取り替えを行うものとする。

但し、天災、地変、不可抗力による事故又は取り扱い上の不注意による事故に対しては、この限りではない。

7. 承諾図

本仕様書ならびに添付図面に記載する事項は、主要なもののみを示すものであるから受注者は、契約後速やかに次の書類を提出して承諾を受けるものとする。

- (1) 機器配置図・配管図
- (2) 各機器外形寸法及び構造図（主要寸法，材質を記入）
- (3) 工 程 表
- (4) 製作仕様書
- (5) その他必要なもの

承諾図は2部（返却用1部を含む）提出とする。

8. 完成図書

本工事完成にあたり、次の書類を一括して製本したものを必要部数提出すること。

- (1) 機器取扱説明書
- (2) 主要機器外形図及び構造図
- (3) 各種検査成績表
- (4) 設計計算書（必要な場合）
- (5) 完成図面
- (6) その他必要なもの

第2節 試運転及び検査

1. 一般事項

- (1) 本設備に使用する機器は、関係規格によって製作し所定の試験に合格したものとする。
- (2) 機器の試験結果は全設備完成後各機器の試験成績をとりまとめ、完成図書に添付して提出すること。
- (3) 試験ならびに検査は、監督員立会いのもとに受注者が行うことを原則とするが監督員が立会うことができない場合や汎用機器については、製作工場で試験を実施し、その成績表，性能試験表を提出するものとする。

(4) 主要機器の工場検査並びに現地試験については、次に記載するとおりとする。

2. 工場試験並びに検査

(1) 主要機器

- 1) 構造検査
- 2) 外観検査
- 3) 性能検査
- 4) 材料及び部品検査（材料試験成績書または規格証明書の提出で代えることができるものとする。）
- 5) 塗装検査
- 6) その他必要な試験検査

材料試験の必要なものに対しては試験片を採取し、JIS に基づいた試験を行って試験成績書を提出するものとする。

製造業者の規格証明書付のものについては原則として試験を省略し、証明書を提出し承諾するものとする。

(2) その他打ち合わせによる。

3. 現地試験並びに検査

現地据付完了後、下記の試験を行うものとする。

- (1) 機器据付け外観検査
- (2) 運転検査
- (3) 塗装検査
- (4) 関係官庁検査
- (5) その他必要な検査

本検査によって欠陥が見出された時は、たとえ工事検査に合格していても良好と認められる状態になるまで補修又は取り替えを行うこと。

4. 工事完了引渡し

諸検査完了をもって工事全般の終了とする。

5. そ の 他

細部については、監督員に指示を受けること。

第2章 工事内容

第1節 ポンプ設備

本工事の工事範囲は次の通りとする。但し工事範囲の詳細は設計図面によるものとする。

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| (1) 吐出弁（電動仕切弁）弁【更新】 | 1 基 |
| 1) 形 式 | 電動仕切弁 |
| 2) 口 径 | φ 200mm |
| (2) NCP直管【撤去】 | 1 個 |
| 1) 口 径 | φ 400mm |
| 2) 延 長 | L 620mm |
| 3) 規 格 | JIS10K F付 |
| (3) 可とう管【新設】 | 1 個 |
| 1) 口 径 | φ 400mm |
| 2) 延 長 | L 620mm |
| 3) 規 格 | ベローズ形 JIS10K |
| (4) NCP90° 曲管【布設替】 | 1 個 |
| 1) 口 径 | φ 400mm |
| 2) 延 長 | L 610mm-L610mm |
| 3) 規 格 | JIS10K F付 |
| (5) ガスケット【更新】 | 3 個 |
| 1) 口 径 | φ 400mm |
| 2) 規 格 | JIS10K |
| (6) 水中渦巻きポンプ【更新】 | 2 基 |
| 1) 形 式 | 水中渦巻きポンプ |
| 2) 口 径 | φ 200mm |
| 3) 仕 様 | 4. 2m ³ /分×33m×440V×60HZ |
| (7) フランジ接合材【更新】 | 8 組 |
| 1) 口 径 | φ 200mm |
| 2) 規 格 | JIS10K |

(8)動力線接続材【更新】 1 2 個
1) 仕 様 防水絶縁処理

(9)圧力計【更新】 2 個

(10)空気抜弁【更新】 2 個

第2節 電気設備

(1)PAS本体+制御装置【更新】 1 台
1) 仕 様 SUS製、LA内蔵、方向性7.2KV 200A

(2)真空遮断器【更新】 1 台
1) 仕 様 電動バネ引出形、電圧引き外し

(3)配線用遮断器【新設】 1 台
1) 仕 様 2P 真空遮断機制御電源用

(4)不足電圧継電器【更新】 1 台
1) 仕 様 誘導形

(5)過電流継電器【更新】 1 台
1) 仕 様 瞬時要素（付）誘導形

第3節 弁類・配管材料

1. 主配管材料

ア 配管寸法、形状は設計図面による。但し、現場で調整を行うこと。

第4節 施 工

1. 据 付

ア 設計図に示す本工事部分の一切の整備を行うものとし、図面に基づき入念に施工し、軸ぶれ、振動など起こらないように特に注意すること。

イ 本工事にて設置する機器は、運転監視、保守点検が容易かつ安全で合理的能率的に行えるように据付けなければならない。なお、必要箇所はすべて危険防止の処理を講ずるものとする。

ウ 機器の据付けにあたっては、鋼板製ウェッジ及び鋼板ライナー等を用いて完全に水平垂直に芯出し調整を行う。なお機器の据付け後、芯出し記録等を提出するものとする。

2. 塗 装

ア 各機器の塗装は、工場における試運転並びに検査終了後とし、防錆と清掃に留意し入念に実施を行うものとする。

イ 塗装に関しては工場塗装を原則とするが、運搬、据付時等において汚れ、傷等が発生した場合、色むら，層間剥離等のないように注意し、据付完了後補修塗装を行うものとする。

3. そ の 他

ア 本工事の各種検査および試験に合格したときをもって竣工とする。

イ 本工事施工上、当然必要と認められるものは本工事にて施工するものとする。

ウ 他工事との取合、調整を十分考慮した施工とする。